

## 1 題材名

『え！ 千葉市のごみのしまつは、こんなにかわってきたの！』（4年生 歴史的学習）  
～「ごみ問題」とは、どのような問題なのだろうか？～

## 2 授業のねらい

- ①終戦後からダストボックス方式、さらに5分別方式へと移り変わってきた千葉市のごみの問題の歴史を振り返って、児童自身がごみ減量について取り組もうとする意識を持てるようにします。
- ②江戸時代のリサイクル社会の様子やリサイクル業を参考にしながら、ごみ問題の本質について理解して、そのために何をするのか考えます。

## 3 指導計画上の位置付け

- ◇4年社会科指導計画 2-2「ごみとすみよいくらし」と関連した学習です。
- ◇4年副読本P38・P39「くらしとごみ」に対応する1時間の学習で、単元の導入の時間としての位置づけとして行います。

## 4 予想される授業の流れと指導資料

- ①終戦後の「どぶ」さらいやごみ収集の写真から、70年以上前の千葉市のごみ収集の様子を読み取り、ごみ問題は身近な問題であることを理解させたいと思います。
- ②1963年（昭和38年）から始まったダストボックス方式のダストボックスの模型を使って、可燃や不燃や粗大等のごみカードを重ねながら、当時はごみをどのように始末していたのかを予想し合います。当時の街中にあるダストボックスには、いつでも、何でも捨ててもよかったという千葉市のごみ収集の歴史を「千葉市HP 環境行政のあゆみ」を使って紹介します。
- ③30年続いたダストボックス方式が5分別収集方式に変わったのは、人口増加のごみ増加や環境悪化が原因であったことを「千葉市のごみ処理の歴史」動画から理解します。それでも、千葉市60年のごみ収集量のグラフから、依然として増えたり減ったりしていることにごみの量について疑問を持たせたいと思います。
- ④江戸時代はかなり進んだリサイクル社会であったことや多様なリサイクル職業があったことを参考にして、児童一人ひとりがごみ問題に意識を持てるように「自分のごみ宣言」を考えます。

### ＜活用する資料＞

- ◎「ダストボックス模型」・「ごみの収集の写真」（当館 収蔵品と令和3年特別展図録の写真）
- ◎千葉市HP「千葉市の環境行政のあゆみ ～これまでの100年 これからの100年～」
- ◎データで見る千葉市100年の軌跡」（千葉市発行） ◎「千葉市のごみ処理の歴史動画」（千葉市作成）
- ◎江戸時代のリサイクル業の図と資料

## 5 指導上の留意点、その他

- ◇1963年の「ダストボックス方式収集」から1992年の「ごみの5分別化」への過程を、単に数字やグラフの変化だけで捉えるのではなく、千葉市がいかんにごみの減量へと努力してきたのかを理解することによって、児童自身もごみの減量化の取り組む意識を持てるように指導したいと思います。
- ◇「ごみ分別スクール」の学習や「清掃工場の校外学習」等の各学校の行事予定に合わせて、実施時期や事前指導という位置づけでの指導内容も相談もしたいと思います。学校の先生方の要望に合わせて、児童にとってより効果的な学習にしたいと考えています。